

■ 実施概要

<事業目的>

現在、ローズバスは鉄道駅や公共施設等、市内循環ルートを運行している。そのルート上に位置する商業施設との連携により、公共交通への転換と市内商業施設の集客促進を測るべく、社会実験を実施した。

<事業内容>

ローズバス1回乗車ごとに「ローズバス×カンカン スタンプカード」に1スタンプ押印(押印はローズバス運転手)。10スタンプが貯まると岸和田カンカンベイサイドモールにて、岸和田カンカンベイサイドモールのポイントカード(CanCan ポイントカード)のポイント(500円相当)と交換できる。

ローズバスは、定額100円/回の乗車料金なので、往復5回、1,000円分の乗車で500円相当の金券が還元される。

※ CanCan ポイントカードデータによると、ローズバス巡回エリアである施設より半径3km内の居住者が約70%、60歳以上の会員が約40%

- ・実施主体：岸和田市(市街地整備課・産業政策課)、南海ウイングバス南部(株)、岸和田カンカンベイサイドモール
- ・実施期間：平成27年8月1日～平成28年3月31日(スタンプカード配布・スタンプ押印期間)
平成27年8月1日～平成28年5月31日(ポイント引換期間)
- ・役割分担：岸和田市) 利用促進PR及び効果検証
南海ウイングバス南部(株)) ローズバス運転手によるスタンプ押印
岸和田カンカンベイサイドモール) 特典ポイント交換(付与相当額負担含む) カード・PRポスター等印刷費等実費負担

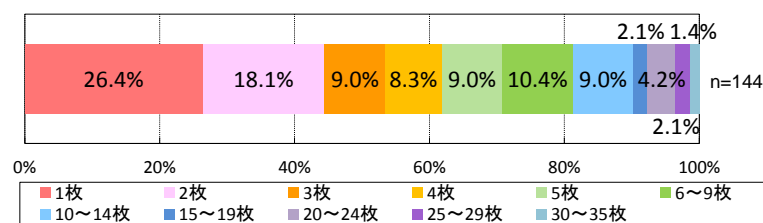
■ ローズバスポイントカード引換状況

- CanCan ポイントへの引換期間中(平成27年8月～平成28年5月)における引換件数は、827件であった。
- スタンプ押印の利用者は、施期間中のローズバス乗車人員に対して約21%を占める。
- 引換実績を見ると、CanCan ポイントカードへ引換された方は、144人であった。
- 引換枚数を見ると1枚が約38人で最も多く、次いで2枚が26人である。最大で35枚を引換された方が見受けられた。
- 年齢別で見ると、60歳代以上が全体の約6割以上を占める。

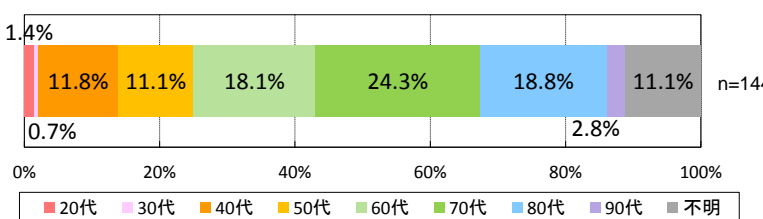
□ ポイントカード引換実績

引換枚数	引換人数
1枚	38人
2枚	26人
3枚	13人
4枚	12人
5枚	13人
6～9枚	15人
10～14枚	13人
15～19枚	3人
20～24枚	6人
25～29枚	3人
30～35枚	2人
合計	144人

□ ポイントカード引換枚数別構成比



□ 年齢別構成比

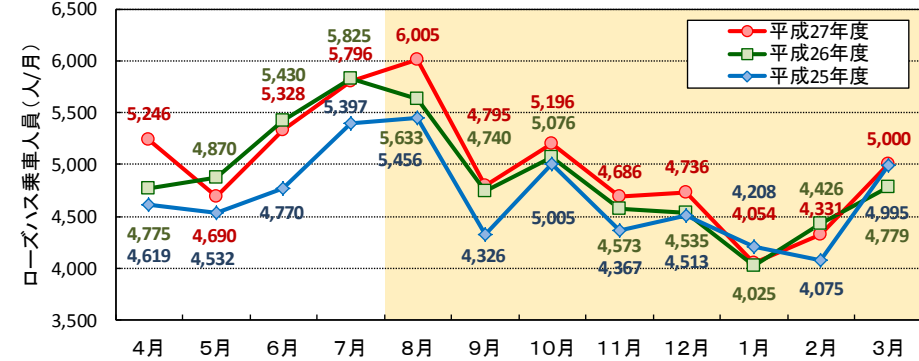


■ 岸和田市ローズバスの利用状況

(1) 乗車人員

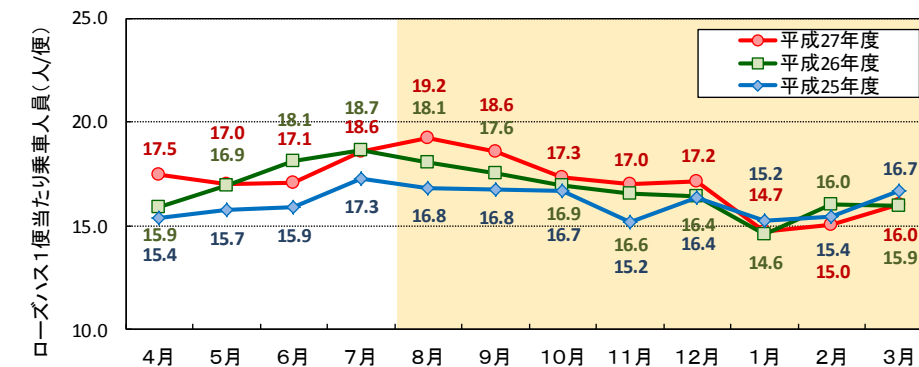
- 岸和田市ローズバススタンプカード実施期間中(平成27年8月～平成28年3月)におけるローズバス乗車人員を見ると、平成27年8月～12月にかけて、平成25年度と平成26年度の同時期よりも増加している。
- 1便当たり乗車人員を見ると、同様の傾向が見受けられる。
- 平成28年1月は、平成25年度と平成26年度よりも減少し、岸和田カンカンベイサイドモール内のイズミヤ西岸和田店が平成27年12月31日(木)をもって閉店したことによる影響も考えられる。

□ ローズバス乗車人員



岸和田市ローズバススタンプカード実施期間(平成27年8月1日～平成28年3月31日)

□ ローズバス1便当たり乗車人員

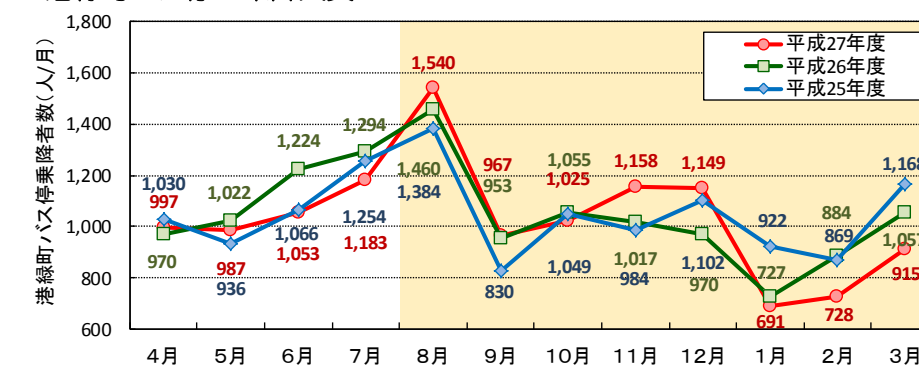


岸和田市ローズバススタンプカード実施期間(平成27年8月1日～平成28年3月31日)

(2) 港緑町バス停の乗降人員

- 岸和田市ローズバススタンプカード実施期間中(平成27年8月～平成28年3月)における港緑町バス停の乗降人員を見ると、平成27年8月～12月にかけて、平成25年度と平成26年度の同時期よりも増加傾向にある。
- 平成28年1月以降は、平成25年度と平成26年度よりも減少し、岸和田カンカンベイサイドモール内のイズミヤ西岸和田店が平成27年12月31日(木)をもって閉店したことによる影響が考えられる。

□ 港緑町バス停の乗降人員



岸和田市ローズバススタンプカード実施期間(平成27年8月1日～平成28年3月31日)

■ ローズバススタンプカード利用者アンケート

(1) 実施概要

- 岸和田市ローズバススタンプカード利用者を対象にアンケートを実施した。
- アンケート調査票の回答状況は、合計 77 票である。

○ 調査概要

【調査方法】

- ・ 調査員が乗込んで直接アンケート記入願う

【調査対象者】

- ・ ローズバス乗車のお客様

【調査時期】

- ・ 平成 28 年 3 月 11 日 (金)
- 右回り 8:00~12:05(岸和田駅発 3 周)
- 左回り 8:20~12:25(岸和田駅発 3 周)
- 各便ともに調査員 1 名乗車

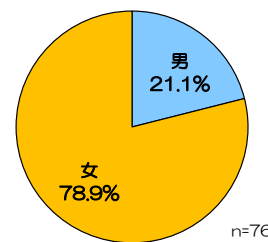
【回答状況】

- ・ 合計 77 票

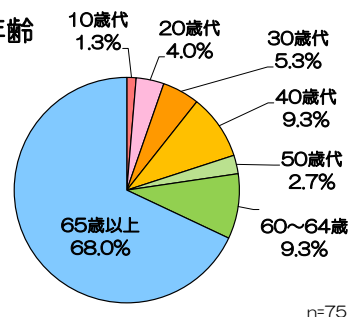
(2) 属性

- 性別は、「女性」が約 79%、「男性」が約 21%である。
- 年齢は、「65 歳以上」が約 68%で最も多く、次いで「60~64 歳」と「40 歳代」がともに約 9%である。

○ 性別



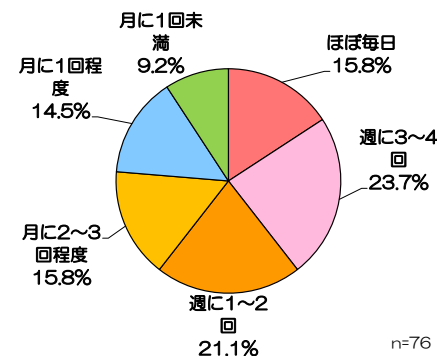
○ 年齢



(3) ローズバスの利用頻度

- 利用頻度は、「週に 3~4 回」が約 24%と最も多く、次いで「週に 1~2 回」が約 21%、「ほぼ毎日」と「月に 2~3 回程度」がともに約 16%である。
- 「週に 1 回以上」の利用者は、全体の 60%以上を占める。

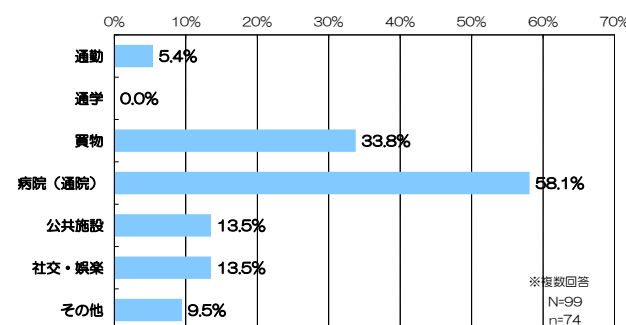
○ ローズバスの利用頻度



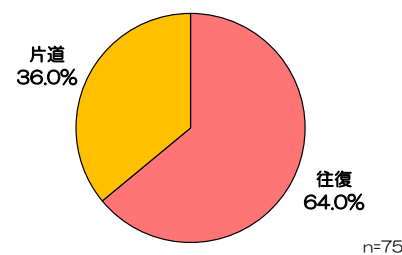
(4) ローズバスの利用目的

- 利用目的は、「病院 (通院)」が約 58%と最も多く、次いで「買い物」が約 34%である。

○ ローズバスの利用頻度



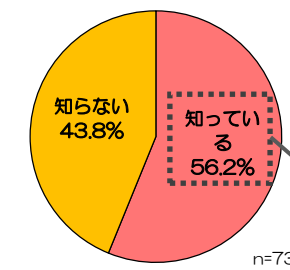
○ ローズバスの往復利用状況



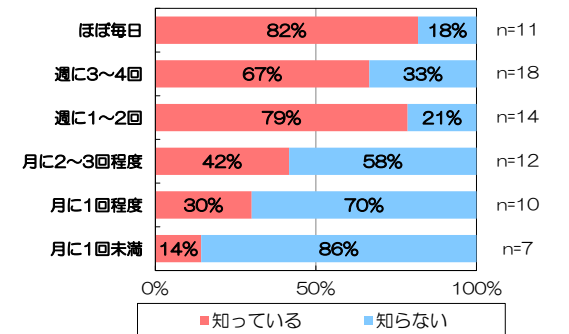
(6) 岸和田市ローズバススタンプカードの認知状況

- 岸和田市ローズバススタンプカード (以降、「スタンプカード」とする) の認知状況は、「知っている」が約 56%、「知らない」が約 44%である。
- 利用頻度別に見ると、利用頻度が高い方が、「知っている」の割合が高い傾向にある。

○ 岸和田市ローズバススタンプカードの認知状況



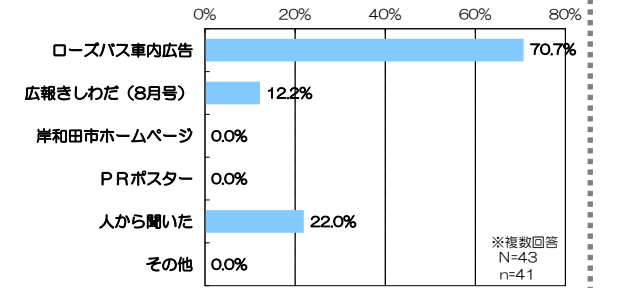
○ 利用頻度別に見た認知状況



(7) スタンプカードを知った方法

- スタンプカードを知った方法は、「ローズバス車内広告 (ポスター)」が最も多く、次いで「人から聞いた」、「広報きしわだ(8月号)」である。

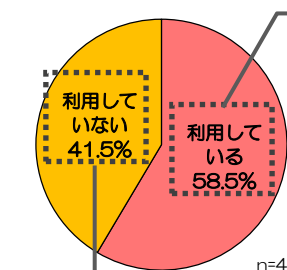
○ 利用頻度別に見た認知状況



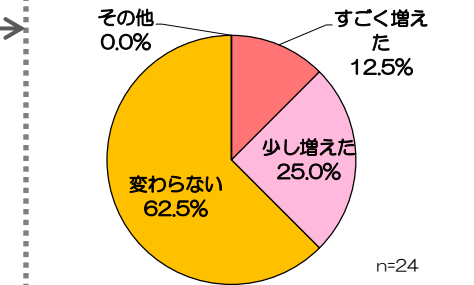
(8) スタンプカードの利用状況とローズバスの利用頻度の変化

- スタンプカードを「知っていた」と回答した方を対象にスタンプカードの利用状況を見ると、「利用している」が約 59%である。
- スタンプカード利用者のうち、ローズバスの利用頻度が「増えた(「すごく増えた」と「少し増えた」の合計)」が約 38%である。

○ スタンプカードの利用状況



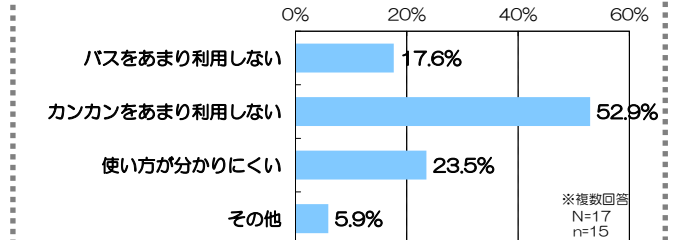
○ スタンプカードの利用によるローズバスの利用頻度の変化



(9) スタンプカードを利用しない理由

- スタンプカードを利用しない方の理由は、「カンカンをあまり利用しない」が最も多く、次いで「使い方が分からない」、「バスをあまり利用しない」である。

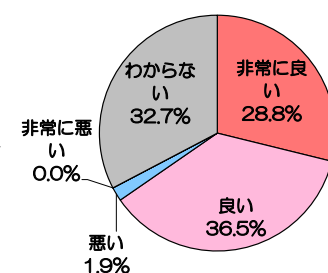
○ スタンプカードを利用しない理由 (複数回答)



(10) 公共交通と商業施設が一体となった利用促進事業について

- 公共交通と商業施設が一体となった利用促進事業について、「良い(「非常に良い」と「良い」の合計)」が約 65%で最も多く、次いで「分からない」が約 33%である。
- スタンプカードの認知状況別に見ると、「知っていた」の方が、利用促進事業について肯定的(「非常に良い」と「良い」の合計)な回答が多い傾向にある。

○ 公共交通と商業施設が一体となった利用促進事業について



○ スタンプカードの認知状況別に見た公共交通と商業施設が一体となった利用促進事業について

